様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和５年　７月１０日

福　岡　市　長　殿

〒811-1122
住　所　福岡市早良区早良２丁目１[redacted]
氏　名　　西福岡宇部コンクリー[redacted]
代表者　　代表取締役　福　岡[redacted]
TEL 092-804-2615

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和３年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	西福岡宇部コンクリート㈱ 早良工場
事業場の所在地	福岡市早良区早良２丁目１－１
事業の種類	レディーミクストコンクリート製造販売
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和４年　４月 ～令和５年　３月

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	２，５００ｔ	全処理委託量	２，５００ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ｔ	再生利用業者への処理委託量	２，５００ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

産業廃棄物処理計画書

令和５年　７月１０日

福　岡　市　長　殿

〒811-1122
住　所　福岡市早良区早良２丁目１－[redacted]
氏　名　　西福岡宇部コンクリート[redacted]
代表者　　代表取締役　福　岡
TEL 092-804-2615

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

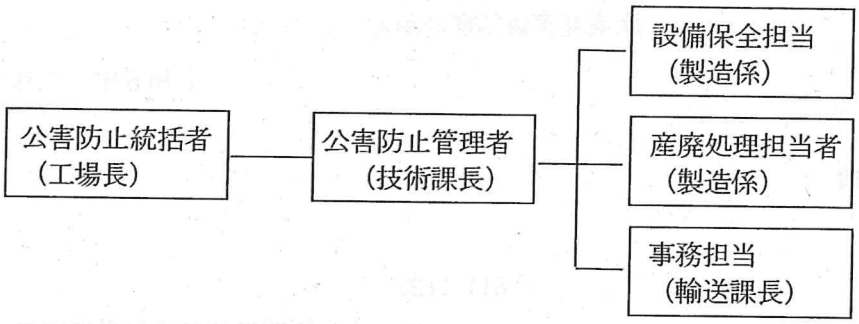
事業場の名称	西福岡宇部コンクリート㈱ 早良工場
事業場の所在地	福岡市早良区早良２丁目１－１
計画期間	令和５年　４月 ～令和６年　３月

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	レディーミクストコンクリート製造販売
② 事業の規模	3,000万円
③ 従業員数	１３人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物はコンクリート製の土間置き場に保管し、一定量が貯まり次第、産業廃棄物の運搬業者及び処理業者に委託し処理する。 産業廃棄物の運搬業者及び処理業者と契約書を取り交わし、運搬処理に当たってはマニフェストにより産業廃棄物が確実に正しく処理されていることを確認する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（　　令和３年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥
排　出　量	２，４６８	１３８．５ｔ

（これまでに実施した取組）
生コン取引業者に注意喚起し現場での処分を徹底指導した。

② 計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥
排　出　量	２，５００ｔ	１４０ｔ

（今後実施する予定の取組）
生コン取引業者に注意喚起し現場での処分を徹底指導
建設汚泥として処分

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

③ 計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（　令和３度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	建設汚泥
	全処理委託量	２，４６８ｔ	１３８．５ｔ
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	２，４６８ｔ	１３８．５ｔ
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 生コン取引業者に注意喚起し現場での処分を徹底指導		

	② 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	建設汚泥
		全処理委託量	2，500t	140t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	2，500t	140t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 生コン取引業者に注意喚起し現場での減量を徹底指導 建設汚泥として処分		
※事務処理欄				

多量排出事業者産業廃棄物処理計画書

西福岡宇部コンクリート㈱

1　事業の概要

工場概要添付

2　産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

公害防止管理規定添付

3　産業廃棄物処理の現状

（1）産業廃棄物の種類、性状、発生量等

コンクリートくず、建設汚泥

安定型廃棄物

3,425ｔ/年

生コン持ち帰り及び生コン車洗車による発生

（2）産業廃棄物の処理状況及び課題

ア　産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

持ち帰り生コンの頻度

イ　産業廃棄物の分別に関する事項

特になし

ウ　産業廃棄物の再生利用に関する事項

特になし

エ　産業廃棄物の自己利用に関する事項

特になし

オ　産業廃棄物の委託処理に関する事項

特になし

カ　その他関連事項

特になし

4　産業廃棄物減量化及び適正処理の計画

（1）計画の目標

前年度以下を目標にする。

（2）目標達成のための方策

ア、工事現場など適正量の注文をしてもらい持ち帰り生コンの量を減らす

イ、整理整頓

ウ、委託業者による再生路盤材出荷

エ、特になし

オ、特になし

カ、特になし

5　その他関連推進事項

生コン引取り業者に注意喚起し現場での処分を徹底指導したい。

１．会社の概要

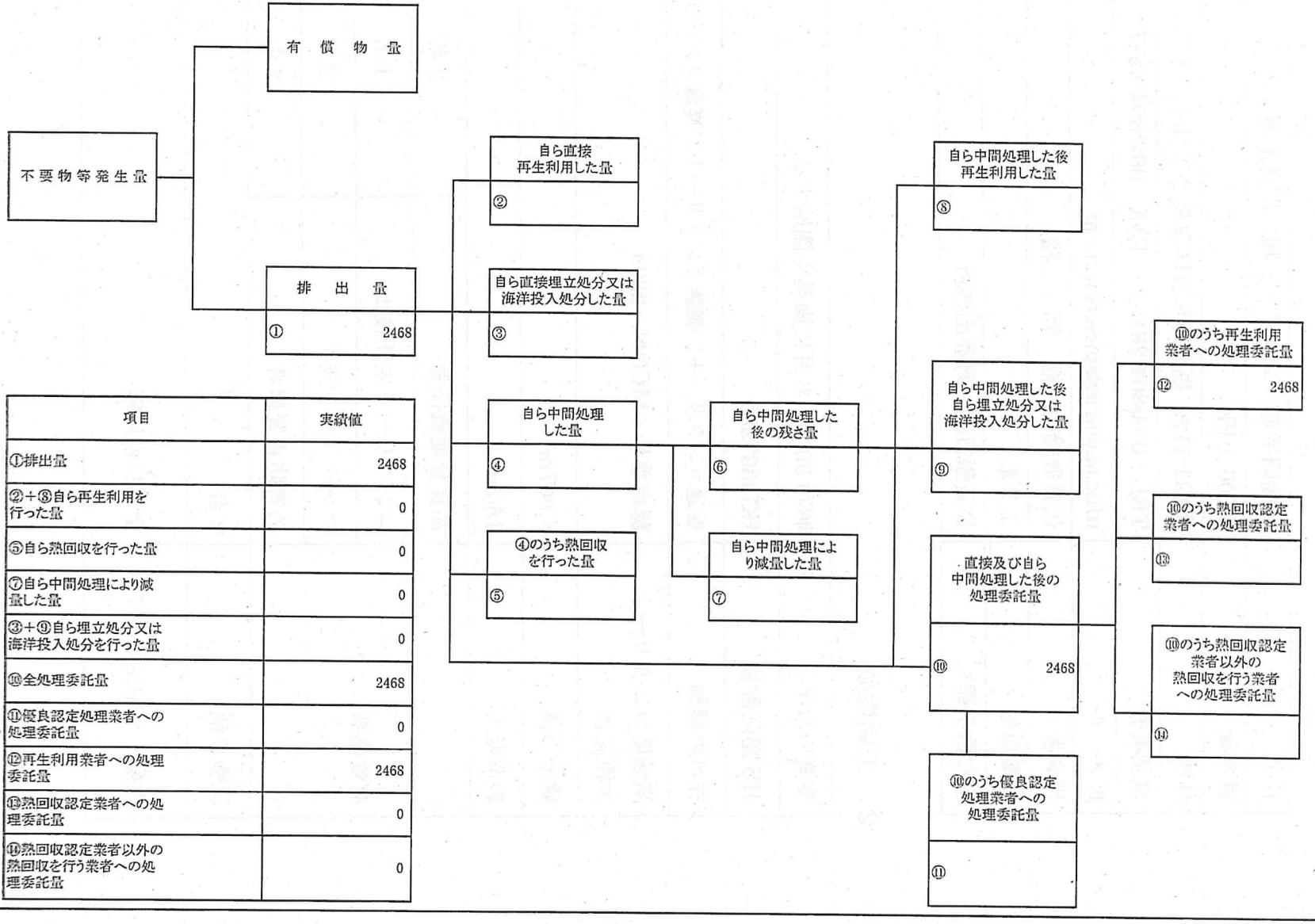
社名	西福岡宇部コンクリート㈱　早良工場
資本金	3,000 万円
住所	〒811-1122 福岡市早良区早良２丁目１－１
電話番号	TEL：092-804-2615、　FAX：092-804-2297
E メール	nfuc.sawara@spice.ocn.ne.jp
代表者	代表取締役　福　岡　　桂
従業員数	１３名
主な取引銀行	佐賀銀行㈱　野芥出張所

２．工場概要

事業の沿革	昭和 39 年　6 月に操業を開始する。	
JIS 認証番号	BG0807250	
許可の種類	普通コンクリート、舗装コンクリート、軽量コンクリート	
高強度コンクリート大臣認定	認定番号：MCON－2804	
敷地面積	4,867m^2	
製造能力	180m^3	
有資格者	品質管理責任者	２名
	コンクリート主任技士	１名
	コンクリート技士	２名
	公害防止管理者	２名
試験車輌	２台	
大型・小型生コン車	全車自家用車	

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリートくず）

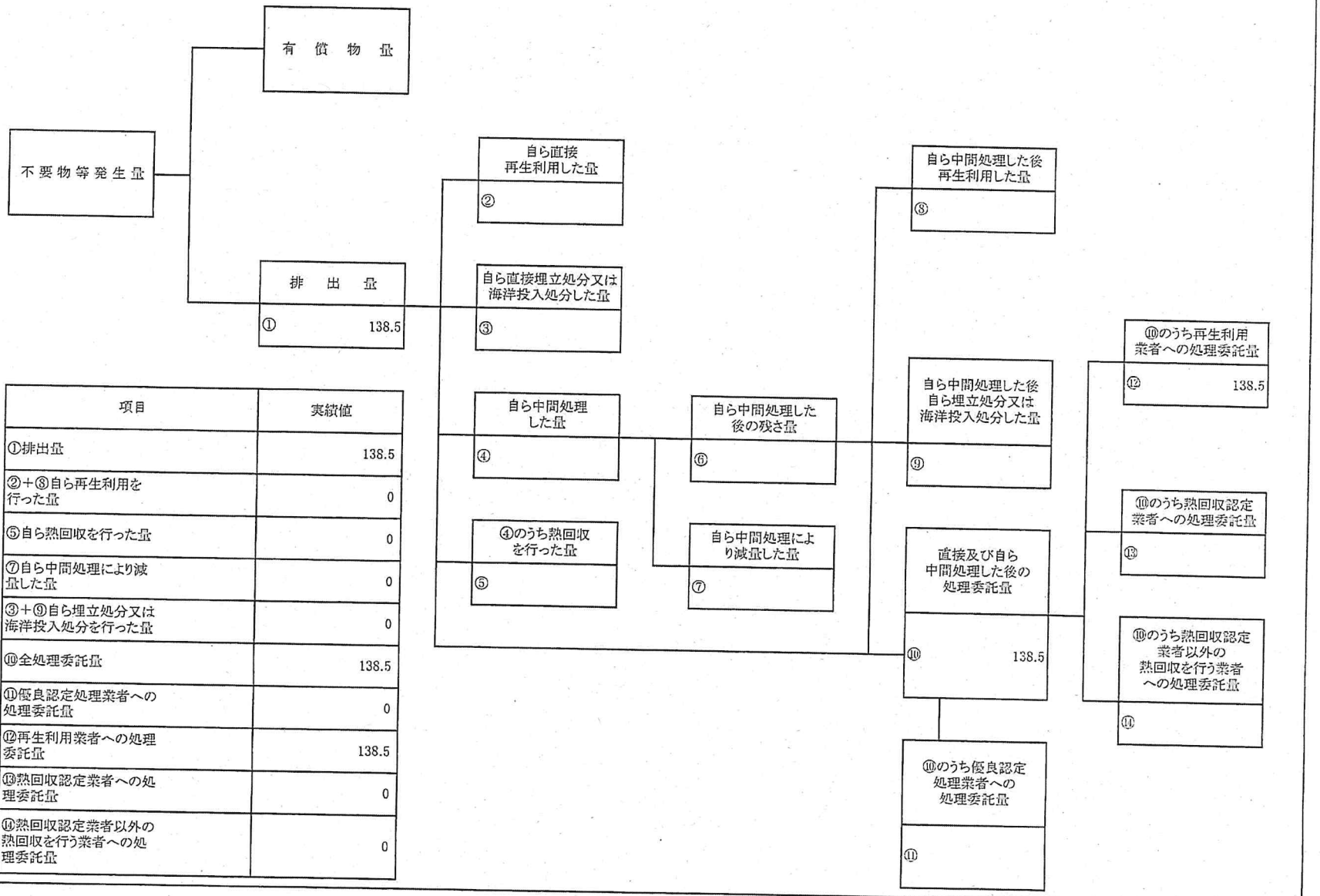


項目	実績値
①排出量	2468
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2468
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2468
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類： 建設汚泥）



項目	実績値
①排出量	138.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	138.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	138.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）